

福岡教区今年度の目標…「信仰の伝達」  
小教区今年度のテーマ…「学び、伝えよう、家庭から私たちの信仰を」

共に永遠の命を目指して



主任司祭 遠山満

先日、大学時代に自転車部に所属しておられた一人の神父様から、興味深い話を伺いました。それは、自転車競技の団体戦の際、例えば、5人ずつの2チーム、10人で競争をする際、チームの一人が先頭を担当し、他の4人を引っ張っていくのだそうです。先頭の人には、風をもろに受けますが、他の4人の人たちは、先頭の人のお陰で風の抵抗をあまり受けることなく、楽に走行できるのだそうです。しかし、先頭の人には他の人より、その分疲労しますので、ある時先頭に立ってけん引する役の人が交代し、別の人が他の人を引っ張っていくのだそうです。

これは、スリップストリームという原理を活かした走行の方法だと思えますが、この方法は、渡り鳥も採用している方法です。渡り鳥は、Vの字になって飛行しますが、Vの字の先端で飛ぶ鳥は、最も風の抵抗を受け、他の鳥は、その分、楽に飛べます。先頭の鳥が疲弊した時、他の鳥がVの字の先端を飛ぶ役割を担い、他のグループを引っ張り、疲弊した鳥を休ませるのだそうです。

これは、家庭においても然り、教会においても然りではないかと思っています。コリントの信徒に向けた手紙の中で、パウロは施しについて次のように述べています。「あなた方の現在のゆとりが彼らの欠乏を補えば、いつか彼らのゆとりもあなた方の欠乏を補うことになり、こうして釣り合いが取れるのです」(Ⅱコリント8章14節)。私達の奉仕も然りです。私達は、ただ受けるばかりでなく、またただ与えるだけでもありません。受けたり、与えたりしながら生きています。

今、私達の教会で進められようとしている、「一人一役」のモットーは、どんな方面で奉仕すれば良いか、まだ分からない人にとって、良きヒントになるのではないかと思います。私たち皆が、他の人の風除けとしての、先頭集団を形成しうる人となっていきますように。そして、先頭集団を形成している人たちが疲弊した時、何時でも交代して、その役割を果たせますように。教会は、永遠の命を目指して旅する神の民なのです。

## カトリック笹丘教会 役員会議事録

開催日時：2016年3月19日（土）14：30～16：00

開催場所：信徒会館

出席者：川原、松尾、畠山、前田（美）、川原（圭）、牧山（途中参加）

欠席者：前田（史）

司会：川原

書記：牧山

### 1. 屋根の軒先に雨が溜まる件について

3月30日に設計会社と施工会社の担当が確認に来る予定。補修方法等協議の予定。

聖堂内の排煙用窓：両サイドに合計6個の排煙窓があるが、開かない窓があるので当日その件も聞いてみる。

### 2. 信者会で使用する備品購入について（新年度予算に計上予定備品）

パソコン：ネット接続の方法を検討した上で購入する

スクリーン：聖堂で使用することを前提（予算に余裕がある場合）

キャビネット：書類やバザー食券等を保管する鍵付きの物

### 3. 4教会（笹丘、茶山、西新、浄水通）合同親父の会について

今回笹丘の担当。6月に計画する。

### 4. 小教区組織・一人一役について

組織図と記入用紙を配布し、4月24日までに提出してもらう。

### 5. 今後の予定

- ・3月26日（土）午後1時 復活たまご作り
- ・4月9日（土）午後1時 総会資料準備
- ・4月24日（日）10時ミサ後 バザーの話し合い
- ・4月30日（土）午後4時 役員会

4月5月の拡大信者会は行わない

小教区共同体は、みんなの力で支えましょう。

一人ひとりの、神様からいただいているタレントを、共同体の活動を通じて神様にお捧げしましょう。

# 2016 復活祭



枝の行列

洗礼式



洗足式



堅信

初聖体



洗礼おめでとうございます



# 2016 復活祭 パーティー

新人の司会者の挨拶で始まりました。



長崎への旅立ちです。



洗礼おめでとうございます



アーメン アレルヤ



グループ対抗ゲーム  
若者には完敗でした



復活祭・受洗おめでとうございます



## ✿ ✿ 信仰のルーツ ✿ ✿



### ロザリオの祈り

私は子供の頃、毎晩繰り返される「長い祈り」が好きではありませんでした。『お父さんばかり隣の部屋でテレビをみてずるい』『土曜のミサから帰って何ですぐまた長い祈り』『休みの日は朝からまた長い祈り』口に出してこそ言いませんでしたが、兄弟皆も同じ気持ちを抱いていたと思います。

一昨年冬、祖母が亡くなりました。12人の子供達を女手一つで育て上げた祖母は、激動の人生であったと聞いています。90歳を過ぎてもおお、できる限りひざまづきロザリオを唱え続けた祖母。葬儀の中で、主任司祭がおっしゃいました。『テル子さん（祖母）から子供達、孫へとまたその子供達へとロザリオの祈りが繋がれていっています。』私はこの言葉で大いに納得しました。なぜなら、よくも悪くも私は決してロザリオの祈りから逃れる事ができないからです。つらく苦しい時、神様から心が遠のいて祈れなくなった時、最後は必ずロザリオの祈りに立ち返ります。ロザリオの鎖にしっかりと繋がれている状態です。心の片隅に刻みこまれているのです。

今では母に感謝しています。6人の子供達を呼び集め、毎晩必死に祈らせてくれた母の努力、強い意志があつての事だと思うからです。

しかしながら、私自身は精神（信仰）がとても弱く、子供達を導いていく自信が全くありません。その為にマリア様の取り次ぎを願いたいと思います。

亡くなる直前、祖母は静かに天を指差したといいます。もしかすると、祖母の目には、マリア様の御姿が写っていたのかもしれませんが。

(A. S)



## 編集後記

一昨年から地元球団を熱烈に応援しました。自分が育った環境は全く無縁だった。夫が野球観戦が大好きで、シーズンになると中継時はもちろん、スポーツニュースは同じような場面が映しだされるのに次々にチャンネルを替えて熱心に見ていた。「さっきも見たやない・・・」と呆れていたのだが・・・その気持ちよくわかります。おもしろい。このように全く無縁だったものも、ともに歩んでいたら、自分に馴染んでくるのだろう。神様とともに歩んでいるのだから、今はつきりしてないことも時間とともに馴染んで神の御旨に従って歩んでいるのを痛感する日が訪れるのでは、と希望を感じた。ご復活おめでとうございます。(J.N)

